

① 段（級）位受付方法について

- 一、剣道着・袴・胴・垂れを着装して受付をします。

（※ 段位受審者は、学科試験の解答用紙を受付の時に提出して下さい。
下記参照）

② 段（級）位審査料払込方法については八・九ページを参照

③ 段位審査会学科試験問題の解答上の記述様式について

400字詰原稿用紙に2枚以上5枚以内とし、直筆、縦書きとする。
受審段位・氏名を明記し、当日に受審番号を記入して提出します。

- 二、案内表に従い、受審級位の受付の前に整列する。
生年月日は、年令の若い者の順になっています。
- 三、生年月日・氏名を係員に明確に告げる。
- 四、受審番号を、垂れに書き入れてもらう。
- 五、竹刀・面・小手を持ち係員の指示に従い受審番号順に会場に整列する。

当日受付時に受審番号を記入する

ホチキスで止める 試験問題を書く

一字空けてから解答文を書き始める

受審段位

106	初段	豊島太郎
一	竹刀の各部の名称と竹刀について述べよ	
二	素振りの方法とその効果について記せ	
	素振りの方法は、	